

ひらしか

第17回 景気動向レポート

2016年1～3月期

【概要】

調査時期 平成28年3月上旬
調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、伊勢原市、秦野市、座間市、海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先
回答先数 当金庫取引先 312先
(内訳) 製造業：60先
卸売業：19先
小売業：46先
サービス業：75先
建設業：82先
不動産業：30先

回答率 97.8%

【調査方法】

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、調査先による直接記入・回収方式

【分析方法】

D I (Diffusion Index)

D Iとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

D Iがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況D Iの推移(業種別)

	2015年 1-3月期	2015年 4-6月期	2015年 7-9月期	2015年 10-12月期 (前期)	2016年 1-3月期 (当期)	2016年 4-6月期 (予想)
製造業	↗ 15.9	↘ 12.7	↘ 3.3	↗ 9.9	↘ ▲10.0	↗ 0.0
卸売業	↗ 10.5	↘ 5.3	↘ 0.0	↘ ▲5.2	↘ ▲10.6	↘ ▲26.3
小売業	↗ 9.1	↘ 0.0	↘ ▲11.6	↗ 8.9	↘ ▲8.7	↗ 0.0
サービス業	↗ 13.7	↘ 4.1	↗ 6.8	↗ 14.7	↘ 2.6	↘ 1.4
建設業	↗ 16.8	↘ 10.8	↘ 4.8	↗ 21.4	↗ 21.9	↘ 9.9
不動産業	↗ ▲7.1	↗ 10.8	↘ ▲10.3	↗ 3.5	↘ ▲6.7	↘ ▲13.3
全業種	↗ 12.3	↘ 7.7	↘ 1.0	↗ 12.5	↘ 1.9	↘ 0.0

全 業 種

2016年1～3月期の業況DIは、対前期比▲10.6ポイントの1.9となり、建設業を除いた全ての業種で悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲13.1ポイントの4.8と悪化となり、収益DIについても対前期比▲5.8ポイントの2.5と悪化となりました。その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比▲1.0ポイントの3.2と低下、仕入・原材料・材料価格DIについては対前期比▲1.0ポイントの13.9と3期連続低下、資金繰りDIは対前期比▲1.3ポイントの▲3.5と3期ぶりの低下となり、人手DIは対前期比+2.5と上昇したものの▲26.9となりました。

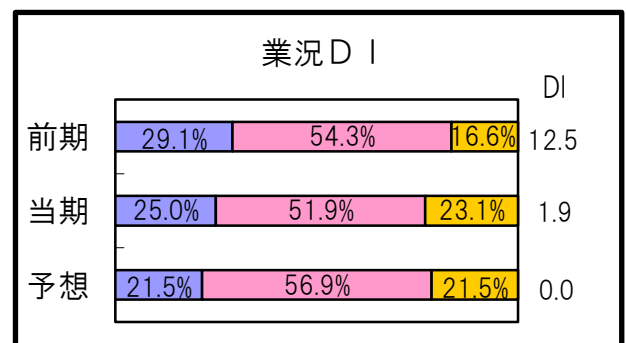
来期（2016年4～6月期）の業況予想では、製造業と小売業を除く全ての業種で悪化を予想しており、全業種総合の業況DIは、対当期比▲1.9ポイントの0.0と悪化を見込む結果となりました。

主要DI構成



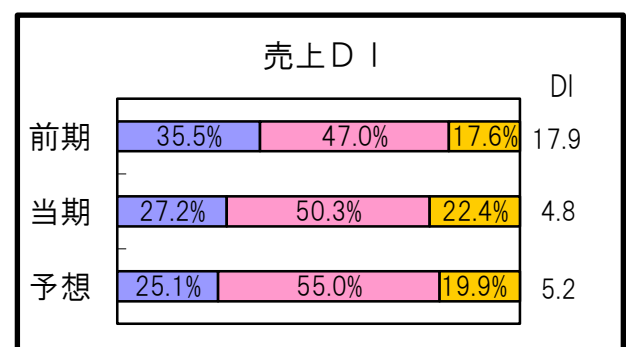
【業況DI】

業況DIは、対前期比▲10.6ポイントの1.9となり、建設業を除く全ての業種で悪化となりました。今後の業況DIは、製造業と小売業を除く全ての業種で悪化を予想しており、全業種としては対当期比▲1.9ポイントの0.0と悪化を見込んでいます。



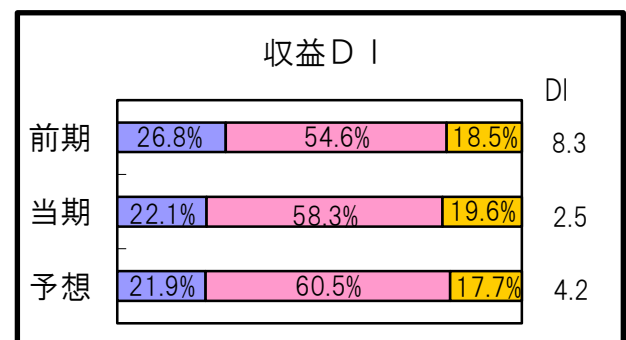
【売上DI】

売上DIは、対前期比▲13.1ポイントの4.8となりました。建設業を除き全ての業種で悪化となりました。今後の売上DIは、サービス業と建設業を除く全ての業種で改善を予想しており、全業種としては、対当期比+0.4ポイントの5.2と改善を見込んでいます。

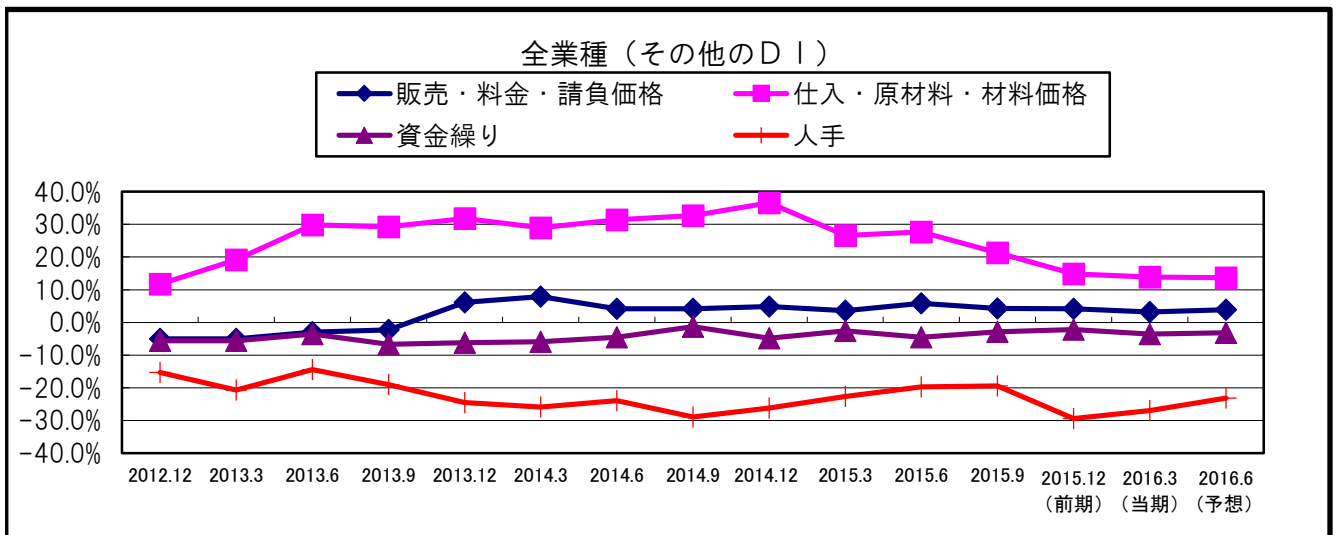
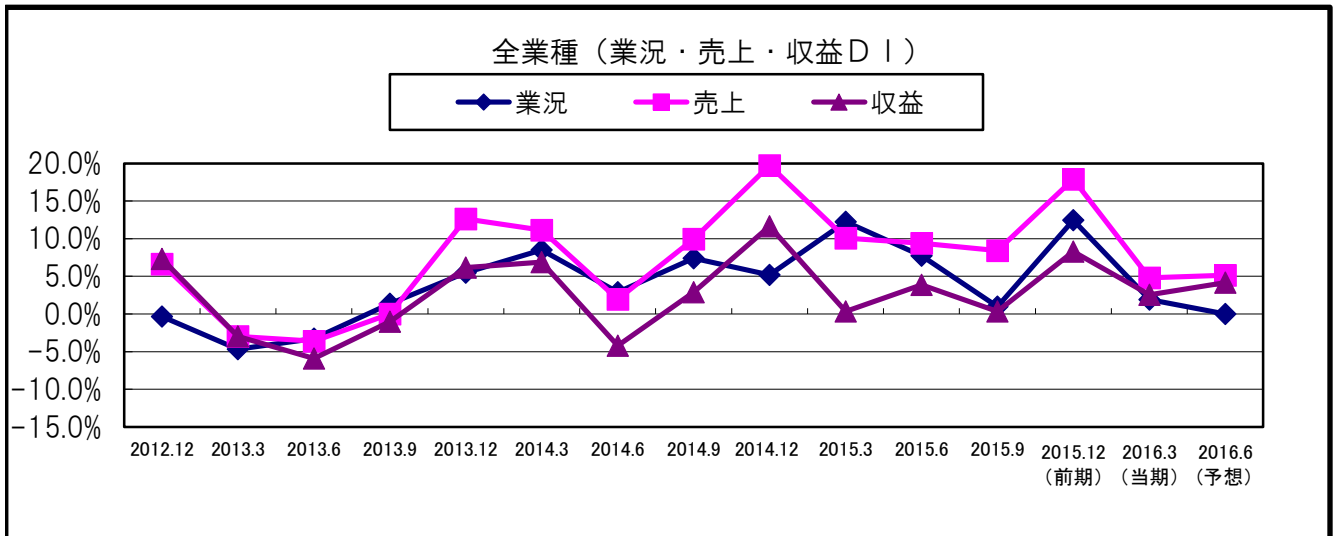


【収益DI】

収益DIは、対前期比▲5.8ポイントの2.5となり、建設業を除き全ての業種で悪化となりました。今後の収益DIは、建設業と卸売業を除く全ての業種で改善を予想しており、全業種としては対当期比+1.7ポイントの4.2と改善を見込んでいます。



DIの推移



“人材マッチングサービスのご紹介”

～人材についてはどちらの中小企業者様も抱える悩み～

「人・モノ・カネ・情報」は企業活動における4つの経営資源と言われており、なかでも、人をどう活かすかは企業活動の成否を分けるものです。しかし、中小企業者様の多くは人材に関する悩みを抱えております。この悩みの解決を図るために、当金庫では株式会社パソナと人材に関するビジネスマッチングサービス契約を締結いたしました。

なお、株式会社パソナと同様の契約締結を行うのは神奈川県内金融機関では当金庫が初めてとなります。

【人材マッチングサービス内容】

人材派遣、紹介予定派遣、人材紹介、再就職支援、福利厚生代行、メンタルヘルスサービス、通訳・翻訳関連請負に関する悩みを抱える中小企業者様へ、株式会社パソナを紹介します。

”人材”の悩みも、ひらしんへお気軽にご相談下さい！

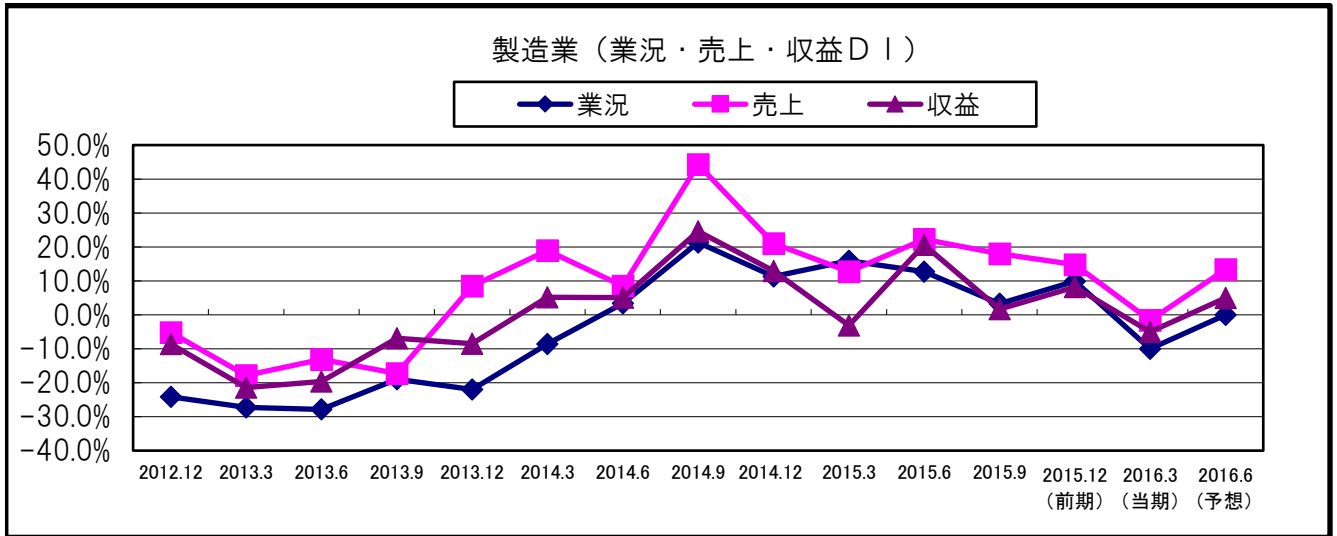
【営業統括部 お客さまサービス課】

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19

〈お問合せ先〉 Tel 0463-24-3071 （担当：小池・中園）

製造業

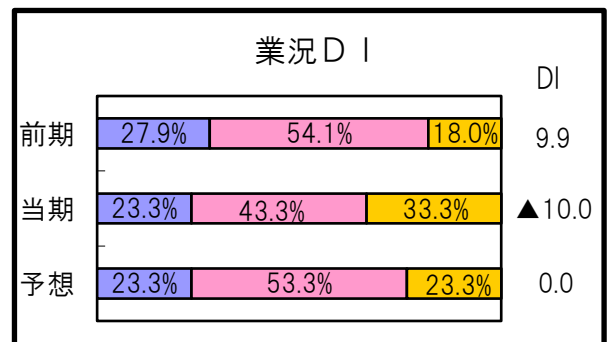
主要DI推移



主要DI構成

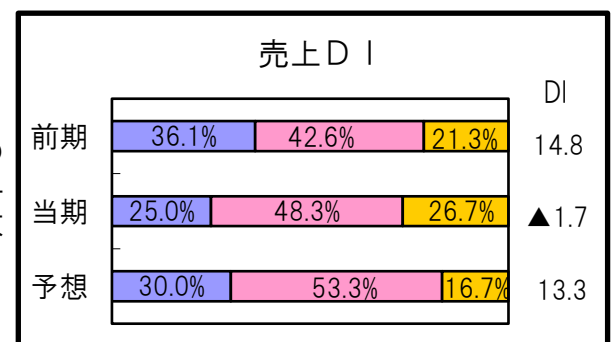
【業況DI】

業況DIは、対前期比▲19.9ポイントの▲10.0となりました。売上DI、収益DI共に悪化したことから、業況DIは悪化となりました。今後の業況DIについては、売上DI、収益DI共に改善を予想しており、対当期比+10.0ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



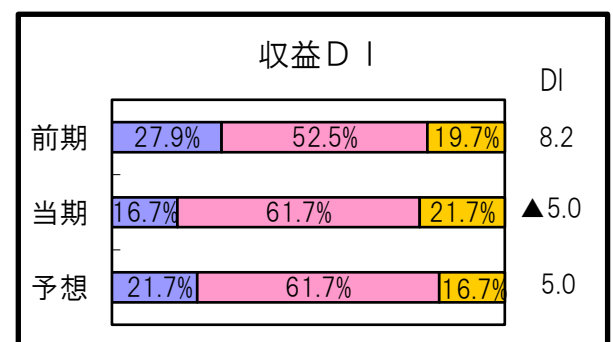
【売上DI】

売上DIは、対前期比▲16.5ポイントの▲1.7となりました。受注残DI、販売価格DI共に低下したことから、売上DIは3期連続悪化となりました。今後の売上DIについては、受注残DI、販売価格DI共に上昇を予想しており、対当期比+15.0ポイントの13.3と改善を見込んでいます。

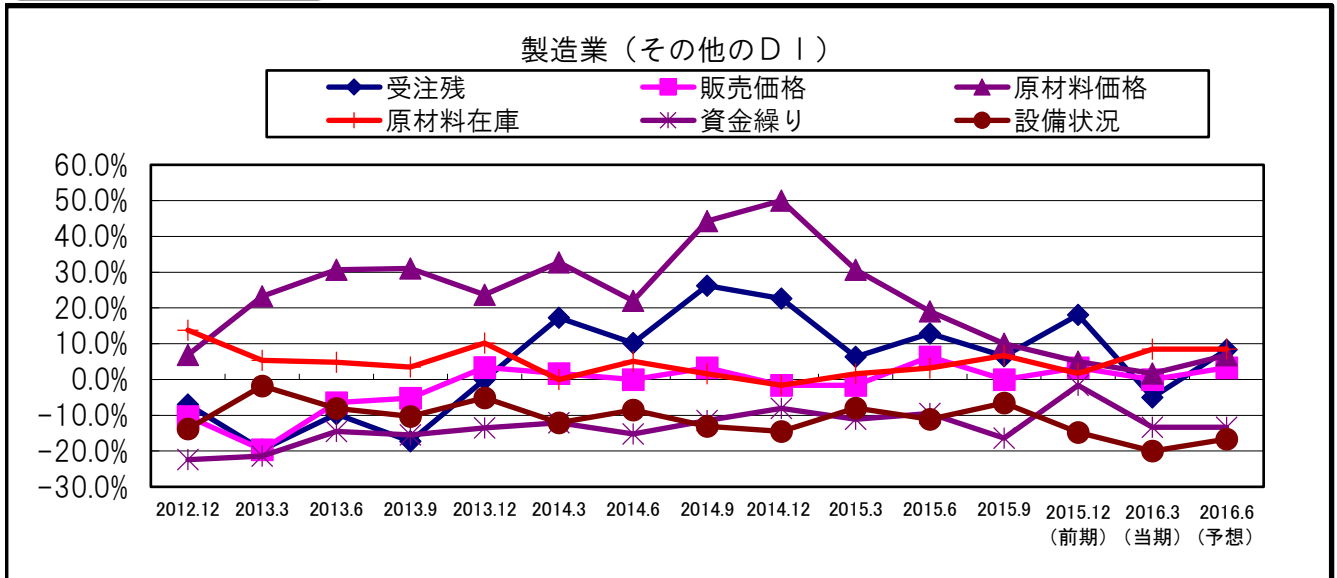


【収益DI】

収益DIは、対前期比▲13.2ポイントの▲5.0となりました。原材料価格DIが低下したものの、販売価格DIも低下したことからマインドが上向かず、収益DIは悪化となりました。今後の収益DIについては、売上DIの改善に加え、販売価格DIの上昇を予想しており、対当期比+10.0ポイントの5.0と改善を見込んでいます。



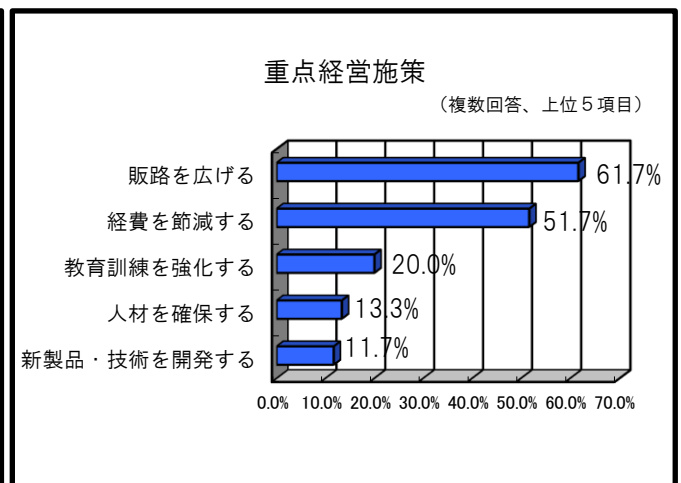
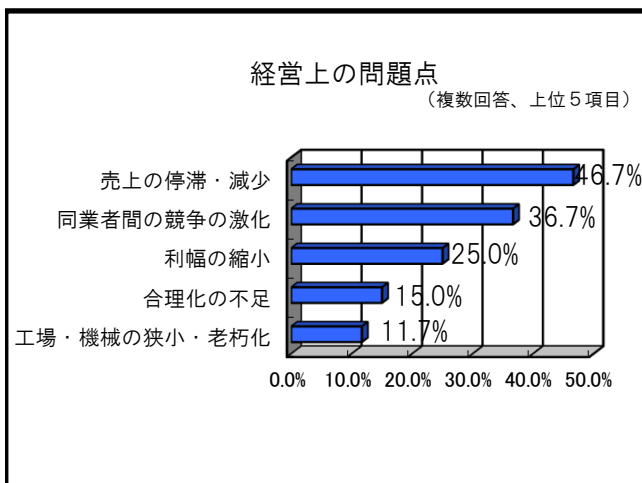
その他のDI推移



【その他のDI】

対前期比でみると、受注残DIは▲23.0ポイントの▲5.0、販売価格DIは▲3.3ポイントの0.0、原材料価格DIは▲3.3ポイントの1.7、原材料在庫DIは+6.8ポイントの8.5、資金繰りDIは▲11.7ポイントの▲13.3、設備状況DIは▲5.2ポイントの▲20.0となりました。今後は、原材料在庫DI、資金繰りDIは横這い、受注残DI・販売価格DI・原材料価格DI・設備状況DIは上昇を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

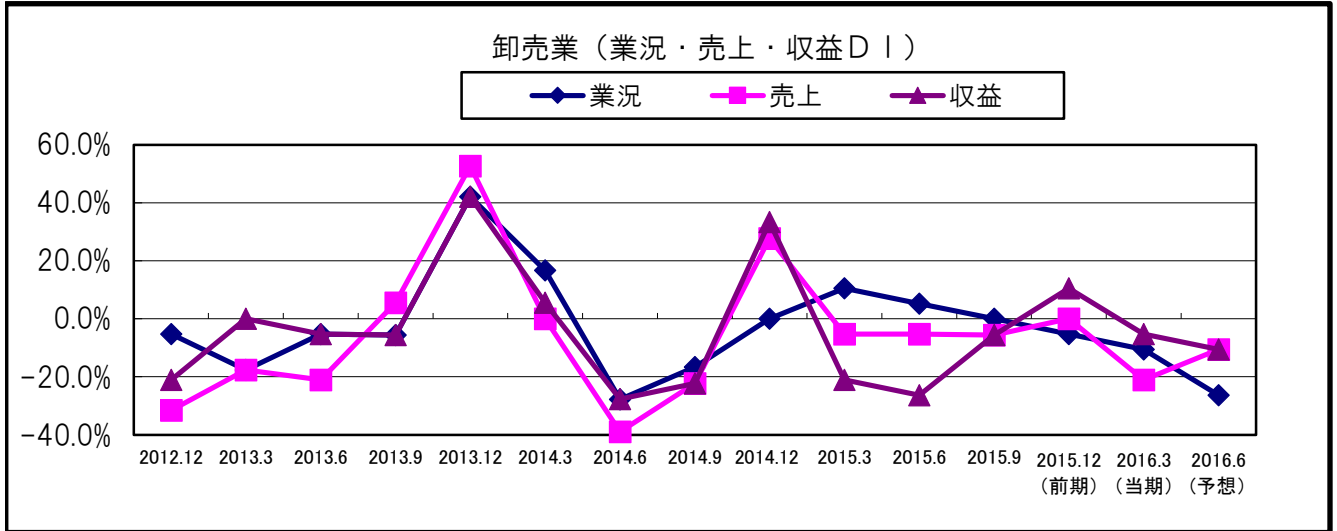
経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が46.7%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」36.7%、「利幅の縮小」25.0%、「合理化の不足」15.0%、「工場・機械の狭小・老朽化」11.7%の順番となりました。

【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が最も多く61.7%、次いで「経費を節減する」51.7%、「教育訓練を強化する」20.0%、「人材を確保する」13.3%、「新製品・技術を開発する」11.7%の順番となりました。

卸売業

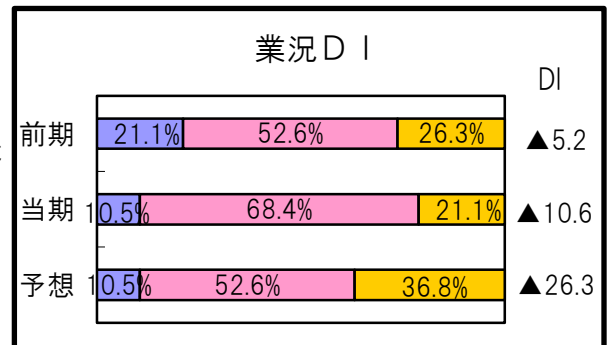
主要D I 推移



主要D I 構成

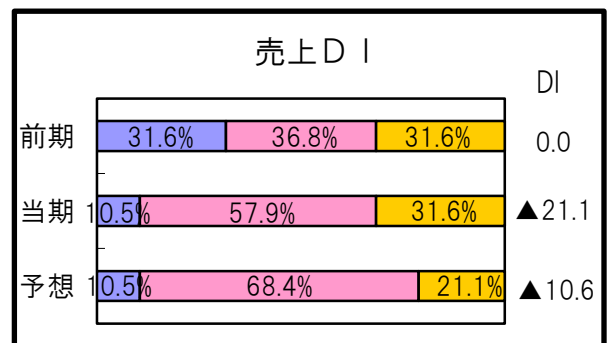
【業況DI】

業況DIは、対前期比▲5.4ポイントの▲10.6となりました。売上DI、収益DI共に悪化したことから、業況DIについても4期連続悪化となりました。今後の業況DIについては、売上DIは改善を予想しているものの、販売価格DIは横這い、収益DIは悪化を予想していることからマインドが上向かず、対当期比▲15.7ポイントの▲26.3と悪化を見込んでいます。



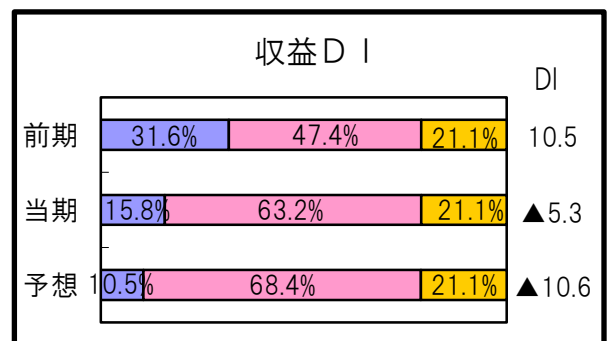
【売上DI】

売上DIは、対前期比▲21.1ポイントの▲21.1となりました。販売価格DIが低下したことから、売上DIは悪化となりました。今後の売上DIについては、販売価格DIの横這い予想に対し、在庫DIは低下を予想していることからマインドが上向き、対当期比+10.5ポイントの▲10.6と改善を見込んでいます。

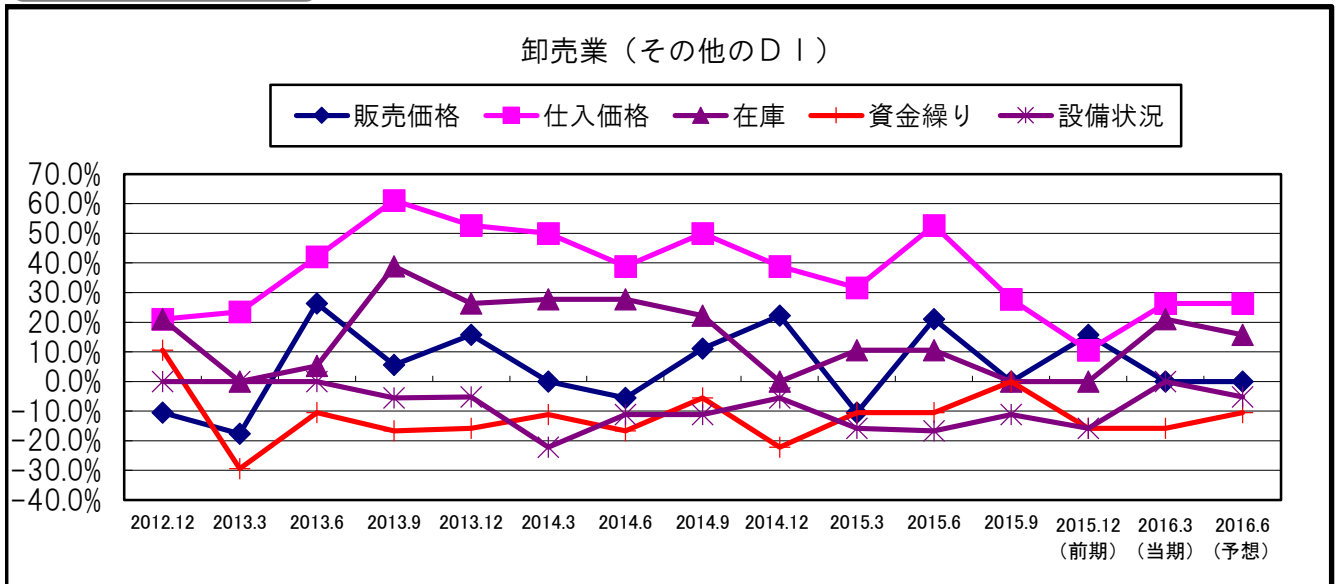


【収益DI】

収益DIは、対前期比▲15.8ポイントの▲5.3となりました。売上DIの大幅悪化、販売価格DIも低下したことから、収益DIについては3期ぶりの悪化となりました。今後の収益DIについては、販売価格DI、仕入価格DI共に横這いを予想していることからマインドが上向かず、対当期比▲5.3ポイントの▲10.6と悪化を見込んでいます。



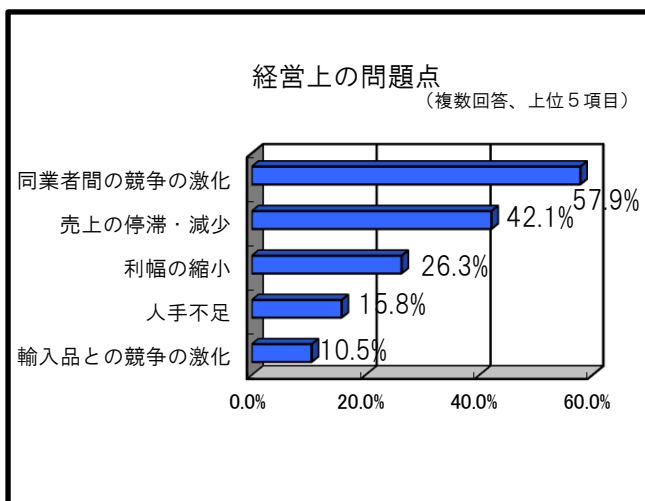
その他のD | 推移



【その他のDI】

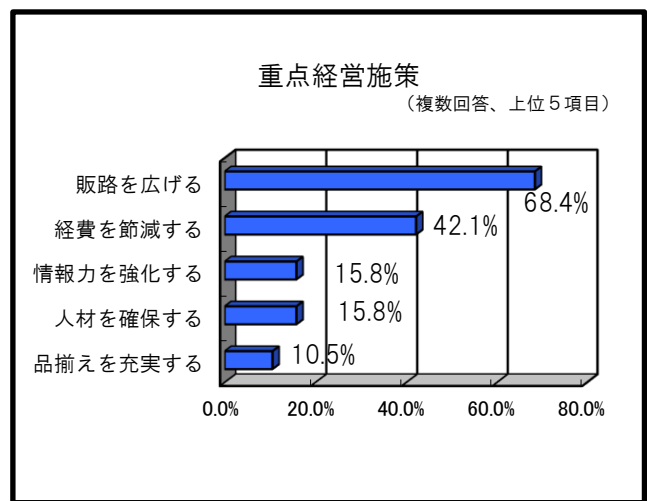
対前期比でみると、販売価格DIは▲15.8ポイントの0.0、仕入価格DIは+15.8ポイントの26.3、在庫DIは+21.1ポイントの21.1、資金繰りDIは横這いの▲15.8、設備状況DIは+15.8ポイントの0.0となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは横這い、在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が57.9%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」42.1%、「利幅の縮小」26.3%、「人手不足」15.8%、「輸入品との競争の激化」10.5%の順番となりました。

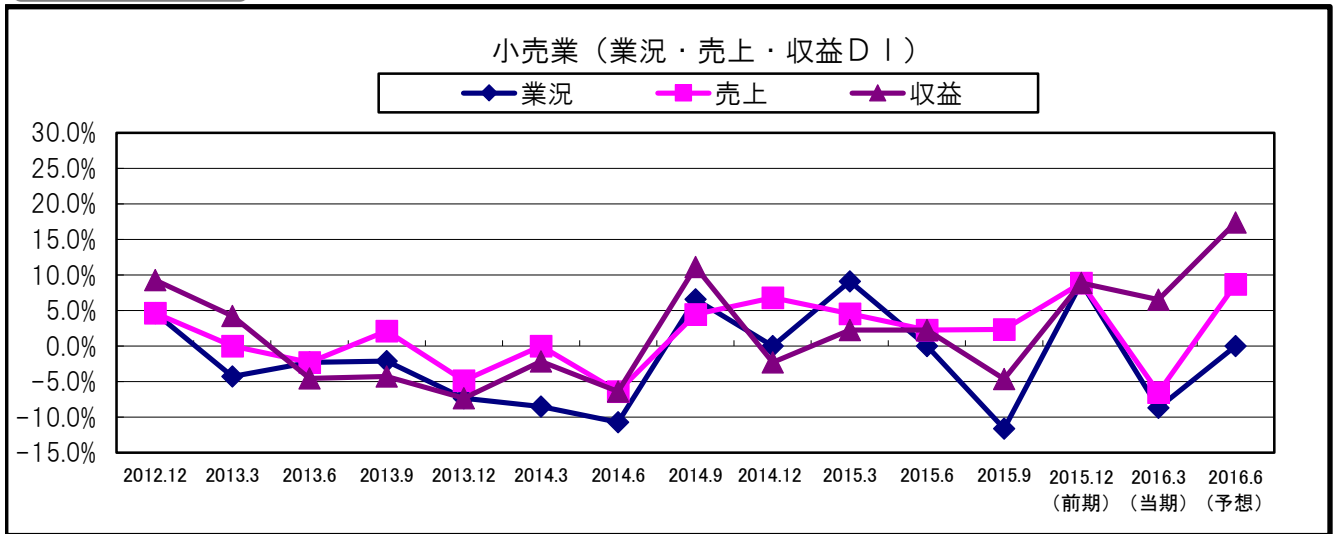


【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が68.4%と最も多く、次いで「経費を節減する」42.1%、「情報力を強化する」と「人材を確保する」が共に15.8%、「品揃えを充実する」10.5%の順番となりました。

小 売 業

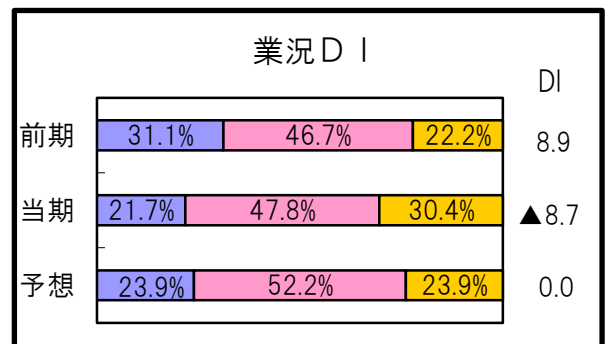
主要D I 推移



主要D I 構成

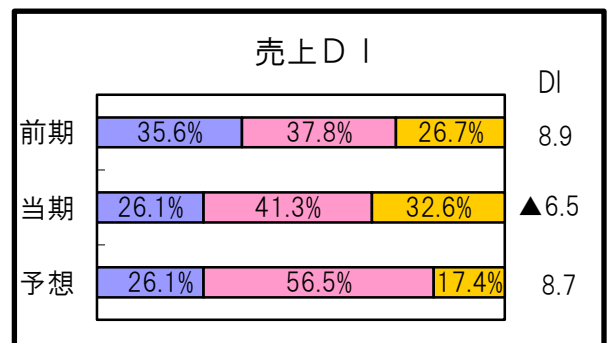
【業況DI】

業況DIは、対前期比▲17.6ポイントの▲8.7となりました。売上DI、収益DI共に悪化となったことから、業況DIは悪化となりました。今後の業況DIについては、売上DI、収益DI共に改善を予想していることから、対当期比+8.7ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



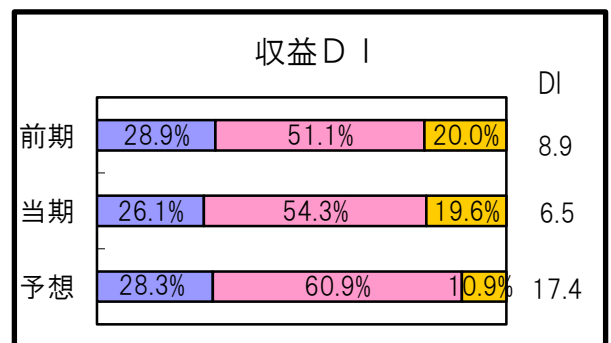
【売上DI】

売上DIは、対前期比▲15.4ポイントの▲6.5となりました。販売価格DIが低下、業況DIも悪化したことからマインドが上向かず、売上DIは悪化となりました。今後の売上DIについては、販売価格DIの上昇、業況DIの改善を予想していることから、対当期比+15.2ポイントの8.7と改善を見込んでいます。

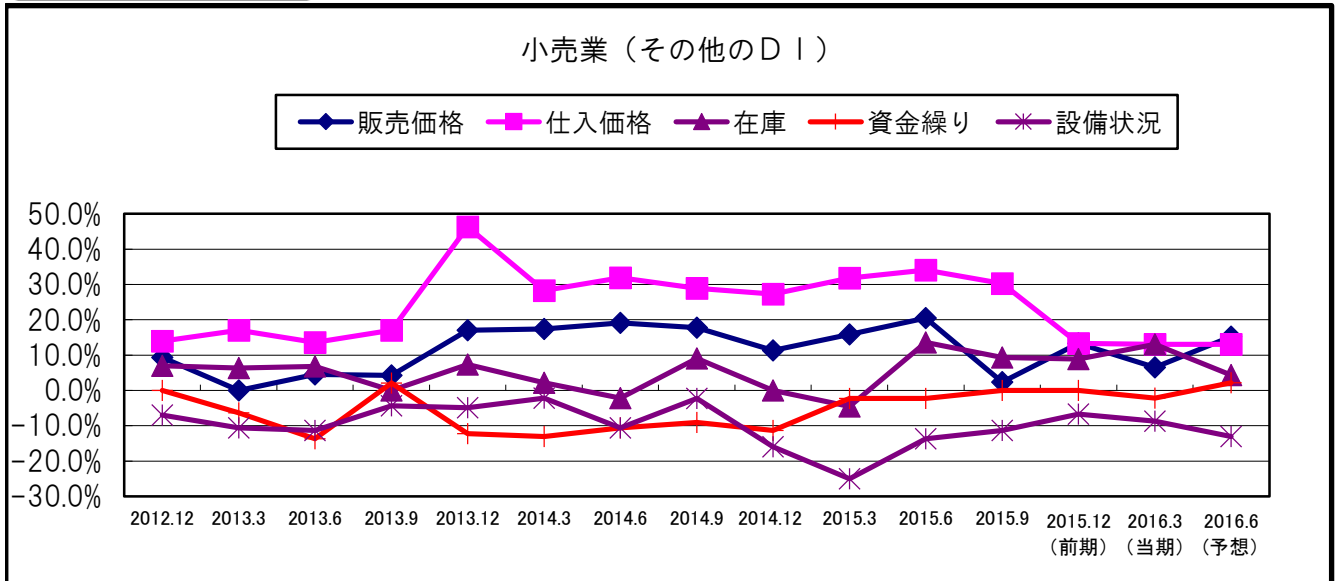


【収益DI】

収益DIは、対前期比▲2.4ポイントの6.5となりました。販売価格DIの低下に対し、仕入価格DIはほぼ横這いであったことから、収益DIについては悪化となりました。今後の収益DIについては、仕入価格DIは横這いを予想しているものの、販売価格DIは上昇を予想しており、対当期比+10.9ポイントの17.4と改善を見込んでいます。



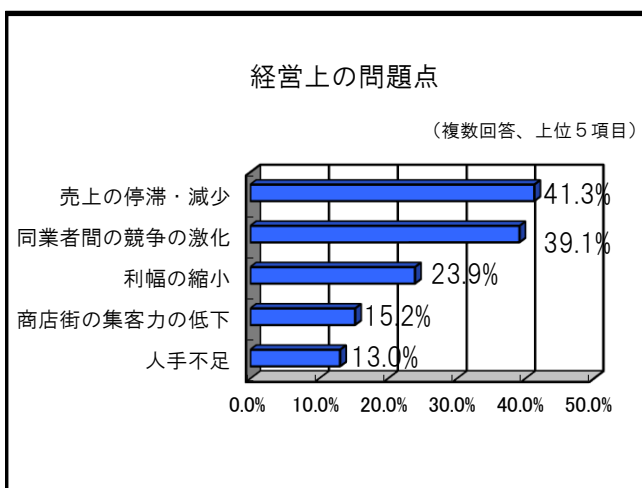
その他のD I 推移



【その他のDI】

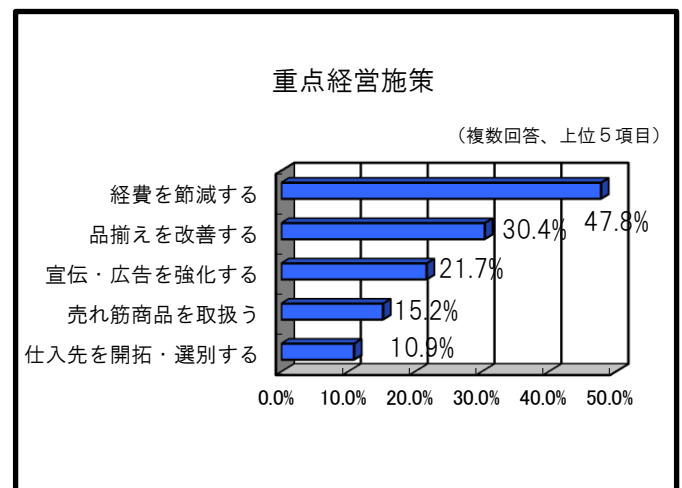
対前期比でみると、販売価格DIは▲6.8ポイントの6.5、仕入価格DIは▲0.3ポイントの13.0、在庫DIは+4.1ポイントの13.0、資金繰りDIは▲2.2ポイントの▲2.2、設備状況DIは▲2.0ポイントの▲8.7となりました。今後は、販売価格DI・資金繰りDIは上昇、仕入価格DIは横這い、在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が41.3%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」39.1%、「利幅の縮小」23.9%、「商店街の集客力の低下」15.2%、「人手不足」13.0%の順番となりました。

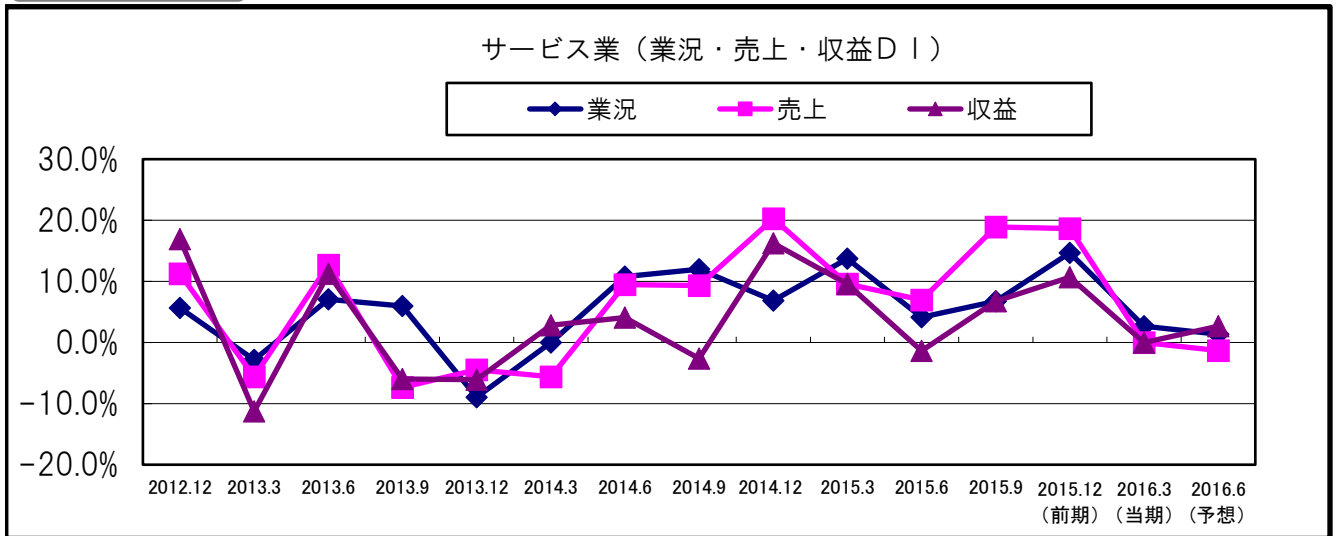


【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が47.8%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」30.4%、「宣伝・広告を強化する」21.7%、「売れ筋商品を取扱う」15.2%、「仕入先を開拓・選別する」10.9%の順番となりました。

サービス業

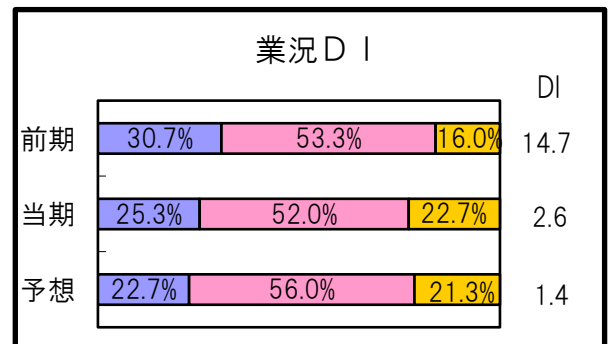
主要D I 推移



主要D I 構成

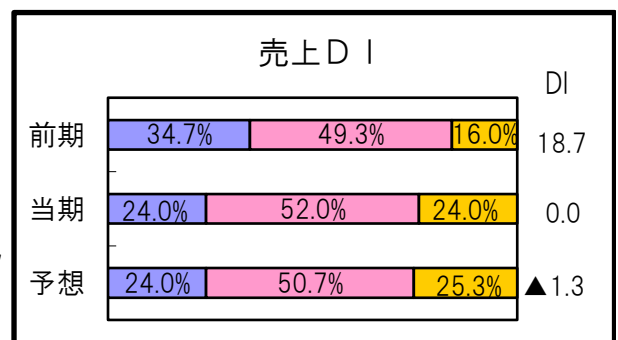
【業況DI】

業況DIは、対前期比▲12.1ポイントの2.6となりました。売上DI、収益DI共に悪化となったことから、業況DIは3期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIについては、収益DIは改善を予想しているものの、売上DI、資金繰りDI共に悪化を予想していることからマインドが上向かず、対当期比▲1.2ポイントの1.4と悪化を見込んでいます。



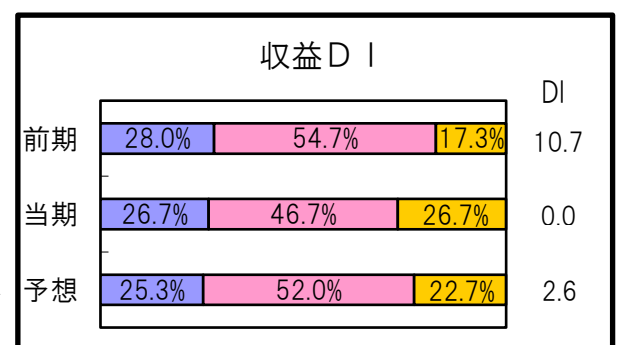
【売上DI】

売上DIは、対前期比▲18.7ポイントの0.0となりました。料金価格DIが横這い、業況DIも悪化となっていることからマインドが上向かず、売上DIについては悪化となりました。今後の売上DIについては、料金価格DIの低下、業況DIの悪化を予想しており、対当期比▲1.3ポイントの▲1.3と悪化を見込んでいます。

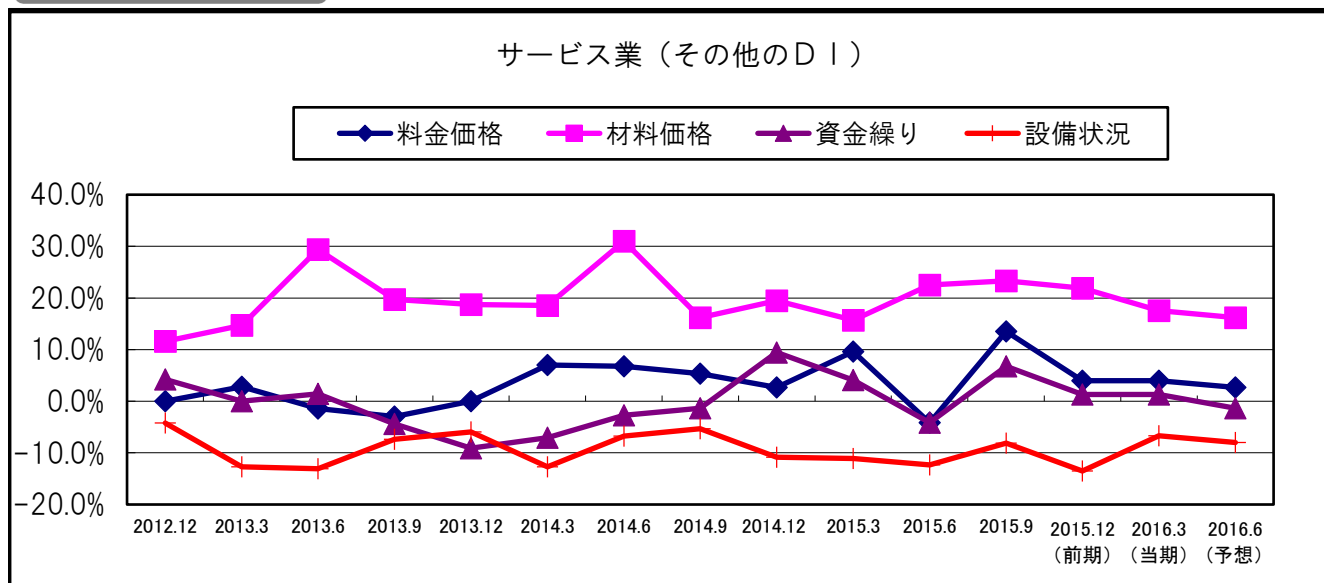


【収益DI】

収益DIは、対前期比▲10.7ポイントの0.0となりました。材料価格DIは低下しているものの、業況DI、売上DI共に悪化していることからマインドが上向かず、収益DIは3期ぶりの悪化となりました。今後の収益DIについては、料金価格DIは低下を予想しているものの、材料価格DIも低下を予想していることから、対当期比+2.6ポイントの2.6と改善を見込んでいます。



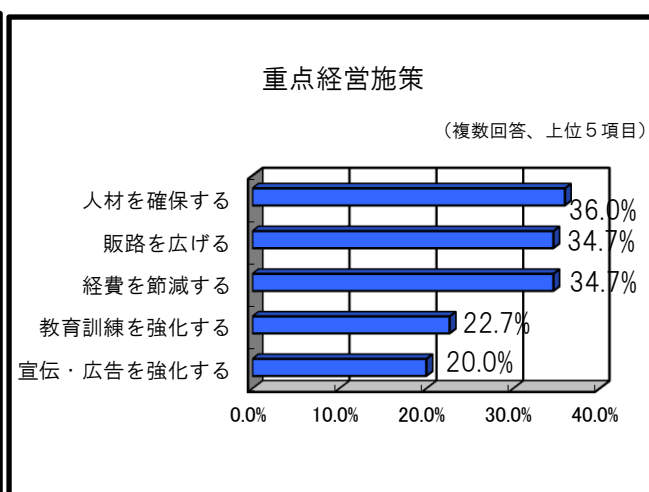
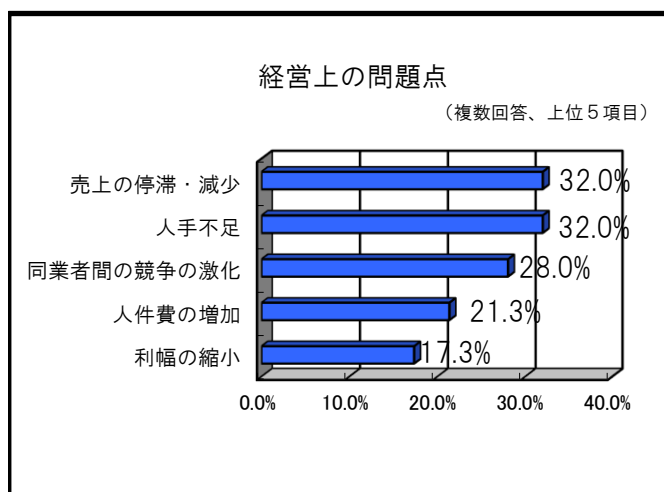
その他のD | 推移



【その他のDI】

対前期比でみると、料金価格DIは横這いの4.0、材料価格DIは▲4.3ポイントの17.6、資金繰りDIは横這いの1.3、設備状況DIは+6.8ポイントの▲6.7となりました。今後は、料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDI・設備状況DI全て低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

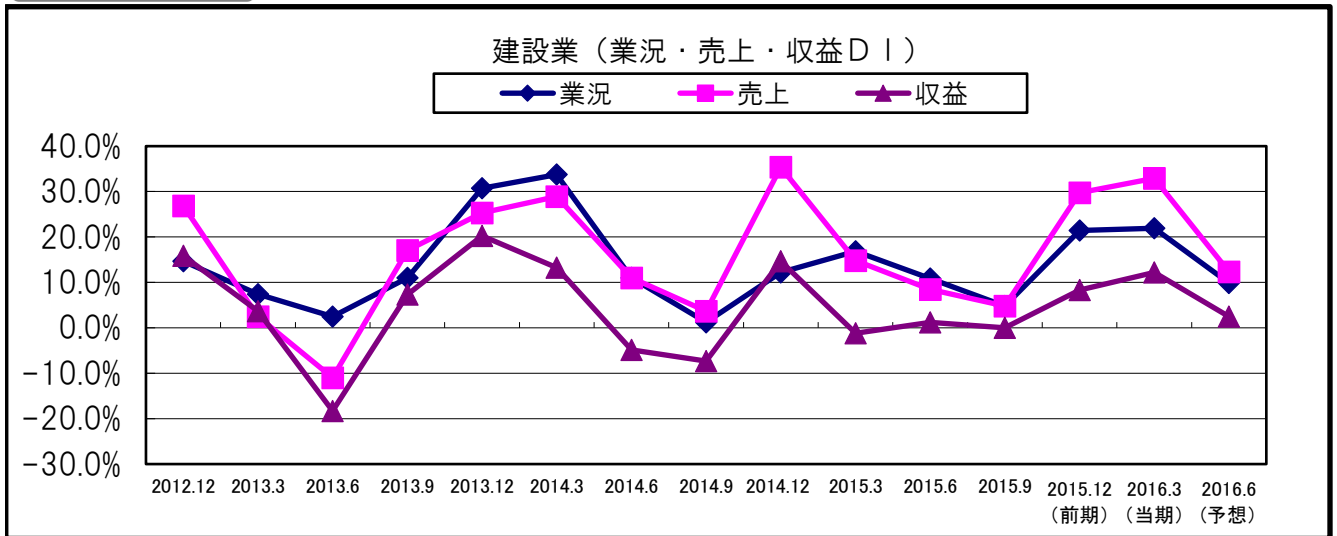
経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」と「人手不足」が共に32.0%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」28.0%、「人件費の増加」21.3%、「利幅の縮小」17.3%の順番となりました。

【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が36.0%と最も多く、次いで「販路を広げる」と「経費を節減する」が共に34.7%、「教育訓練を強化する」22.7%、「宣伝・広告を強化する」20.0%の順番となりました。

建設業

主要D I 推移

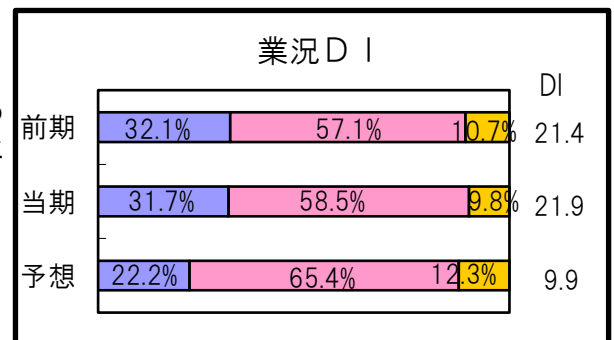


主要D I 構成



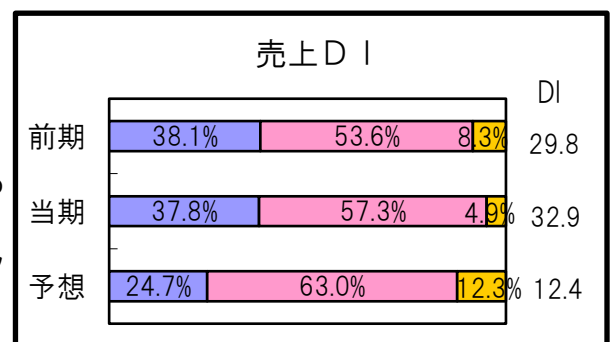
【業況DI】

業況DIは、対前期比+0.5ポイントの21.9となりました。売上DI、収益DI共に改善となり、業況DIについては2期連続改善となりました。今後の業況DIについては、売上DI、収益DI共に悪化を予想しており、対当期比▲12.0ポイントの9.9と悪化を見込んでいます。



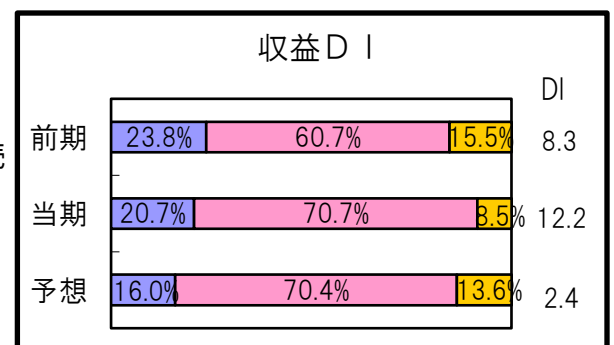
【売上DI】

売上DIは、対前期比+3.1ポイントの32.9となりました。受注残DIが2期連続の改善、施工高DIも3期連続上昇したことからマインドが上向き、売上DIは2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、施工高DI、受注残DI共に低下を予想しており、対当期比▲20.5ポイントの12.4と悪化を見込んでいます。

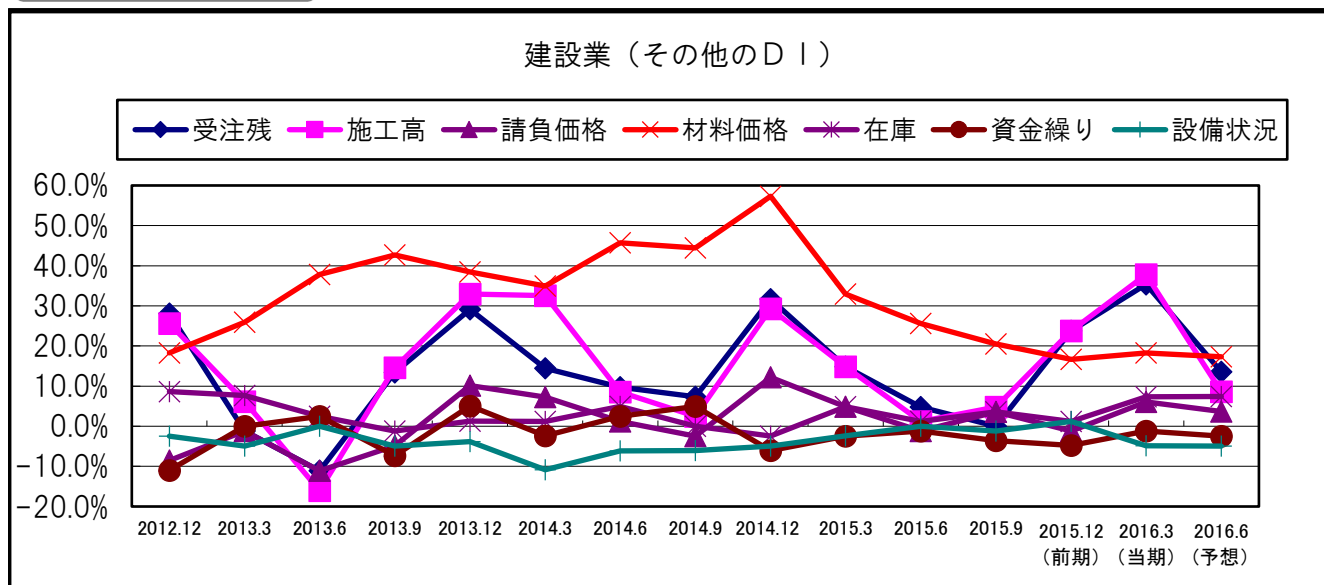


【収益DI】

収益DIは、対前期比+3.9ポイントの12.2となりました。売上DIの改善、請負価格DIも上昇したことからマインドが上向き、収益DIについては2期連続改善となりました。今後の収益DIについては、請負価格DIの低下を予想しており、対当期比▲9.8ポイントの2.4と悪化を見込んでいます。



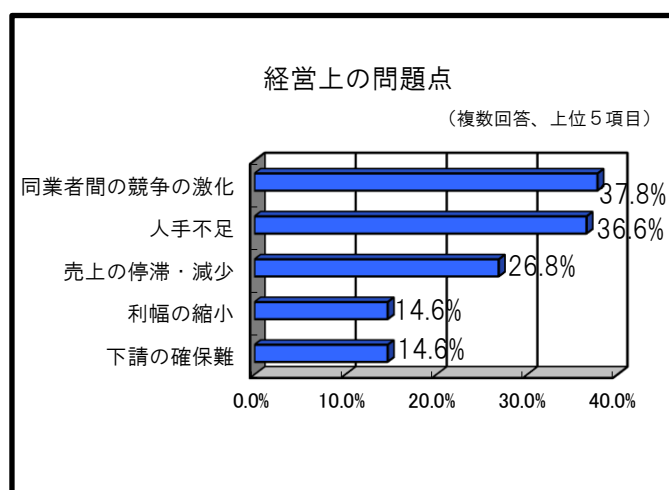
その他のD I 推移



【その他のD I】

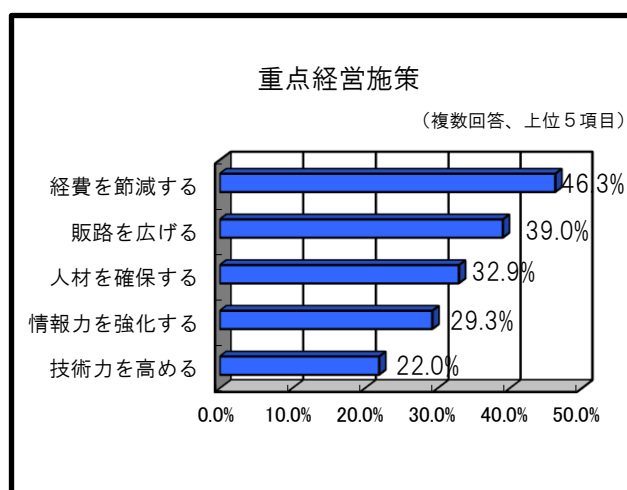
対前期比でみると、受注残D Iは+11.6ポイントの35.4、施工高D Iは+14.0ポイントの37.8、請負価格D Iは+7.3ポイントの6.1、材料価格D Iは+1.6ポイントの18.3、在庫D Iは+6.1ポイントの7.3、資金繰りD Iは+3.6ポイントの▲1.2、設備状況D Iは▲6.1ポイントの▲4.9となりました。今後は、在庫D Iは上昇、設備状況D Iは横這い、受注残D I・施工高D I・請負価格D I・材料価格D I・資金繰りD Iは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が37.8%と最も多く、次いで「人手不足」36.6%、「売上の停滞・減少」26.8%、「利幅の縮小」と「下請の確保難」が共に14.6%の順番となりました。

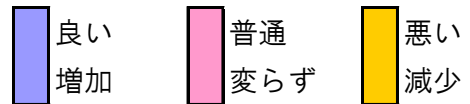
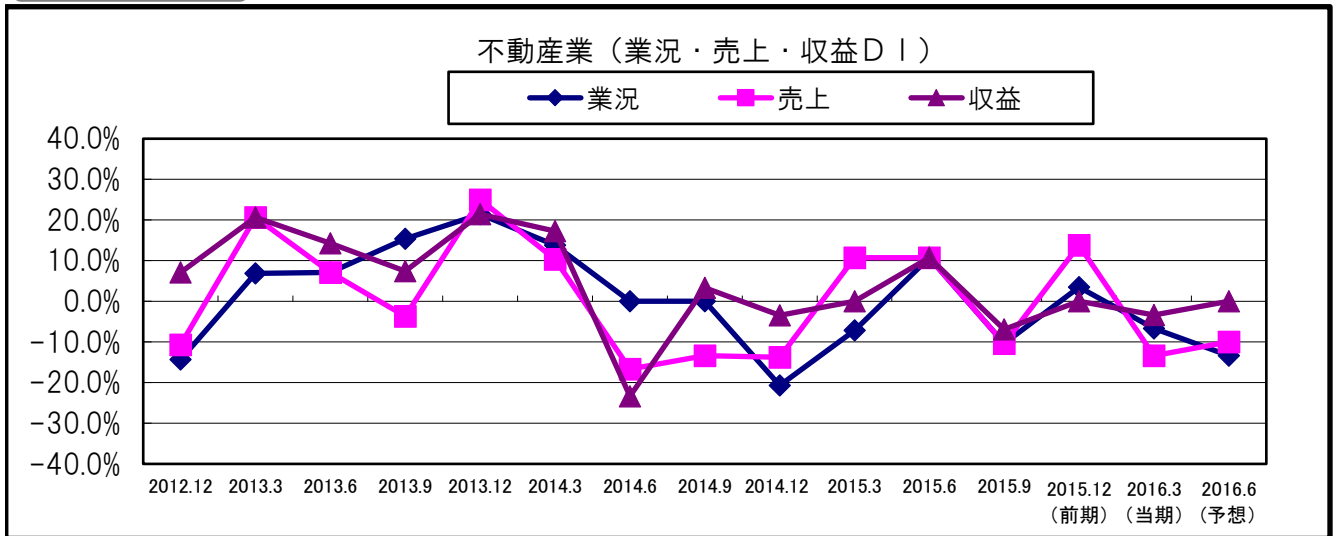


【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が46.3%と最も多く、次いで「販路を広げる」39.0%、「人材を確保する」32.9%、「情報力を強化する」29.3%、「技術力を高める」22.0%の順番となりました。

不動産業

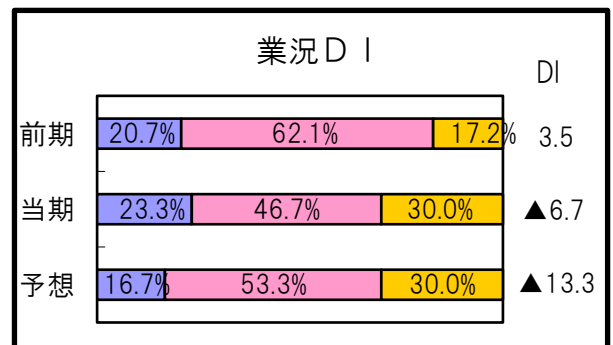
主要D I 推移



主要D I 構成

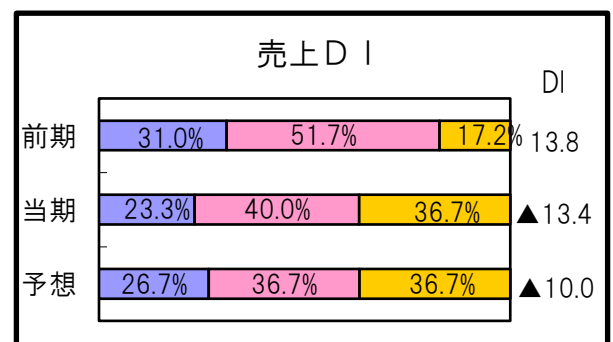
【業況D I】

業況D Iは、対前期比▲10.2ポイントの▲6.7となりました。売上D I、収益D Iが共に悪化したことから、業況D Iは悪化となりました。今後の業況D Iについては、販売価格D Iの低下を予想しておりマインドが上向かず、対当期比▲6.6ポイントの▲13.3と悪化を見込んでいます。



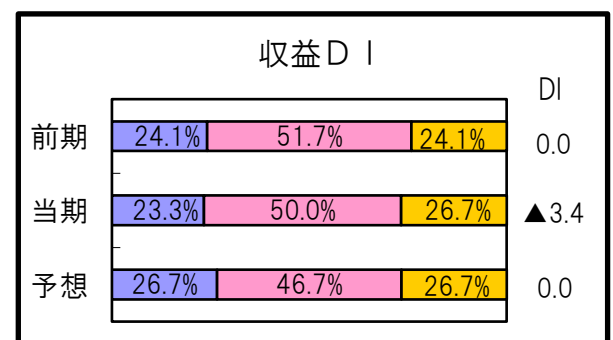
【売上D I】

売上D Iは、対前期比▲27.2ポイントの▲13.4となりました。業況D Iの悪化、販売価格D Iも低下したことから、売上D Iは悪化となりました。今後の売上D Iについては、対当期比+3.4ポイントの▲10.0と改善を見込んでいます。

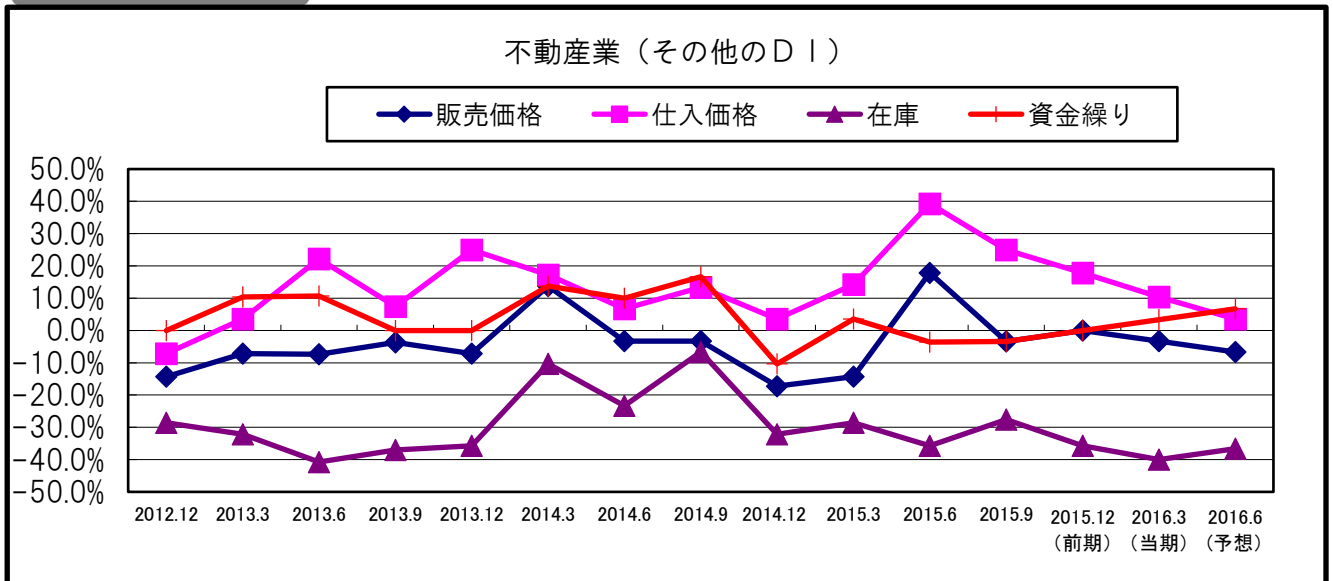


【収益D I】

収益D Iは、対前期比▲3.4ポイントの▲3.4となりました。販売価格D Iが低下したことからマインドが上向かず、収益D Iについては悪化となりました。今後の収益D Iについては、売上D Iの改善、仕入価格D Iの低下を予想しており、対当期比+3.4ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



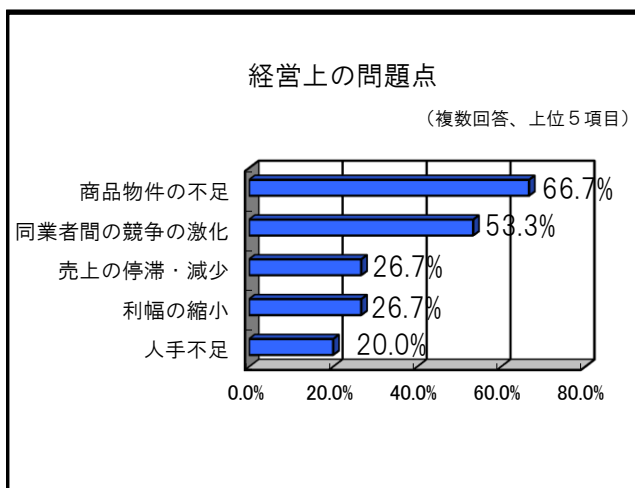
その他のD | 推移



【その他のDI】

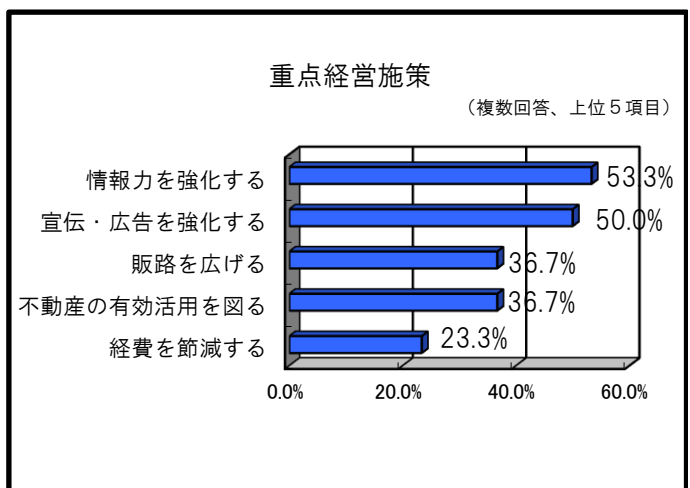
対前期比でみると、販売価格DIは▲3.3ポイントの▲3.3、仕入価格DIは▲7.6ポイントの10.3、在庫DIは▲4.3ポイントの▲40.0、資金繰りDIは+3.3ポイントの3.3となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が最も多く66.7%、次いで「同業者間の競争の激化」53.3%、「売上の停滞・減少」と「利幅の縮小」が共に26.7%、「人手不足」20.0%の順番となりました。



【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が53.3%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」50.0%、「販路を広げる」と「不動産の有効活用を図る」が共に36.7%、「経費を節減する」23.3%の順番となりました。

特別調査 「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

【問1】貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものをお答えください。

選択肢(全項目)	
社長の年齢階層	
20歳代、30歳代	3.2%
40歳代	22.0%
50歳代	29.4%
60歳代	32.0%
70歳代以上	13.3%
後継者について	
後継者はすでに決まっている	27.1%
後継者はいるが、まだ決まっていない	20.6%
候補者が見当たらない	11.9%
まだ考えていない	36.8%
後継者は必要ない(事業譲渡希望、廃業予定など)	3.5%

【問2】貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものをお答えください。

選択肢(全項目)	
子供(娘婿などを含む)に承継	36.5%
現時点で、考えるつもりはない	24.5%
非同族の役員、従業員に承継	15.2%
その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継	6.8%
忙しくて考える余裕がない	6.8%
現在の事業を継続するつもりがない	5.5%
M&A(第三者への事業譲渡)等	2.3%
何から手をつけて良いかわからない	1.6%
非同族の社外の人材に承継	1.0%
身近に相談相手がいない	0.0%

【問3】事業承継に関し、情報や知識の入手先についてお答えください。

選択肢(全項目)【複数回答】	
専門家(税理士等)	55.1%
取引先金融機関	23.4%
インターネット	14.1%
新聞・書籍	11.2%
取引先企業	9.6%
商工会議所・商工会	6.7%
コンサルタント企業	5.1%
国・地方公共団体およびその外郭団体	1.9%
特になし	17.6%
その他	3.2%

【問4】貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。

選択肢(全項目)【複数回答】	
事業の将来性	52.6%
取引先との信頼関係の維持	40.1%
後継者の力量不足	21.8%
自社株など個人資産の取扱い	14.4%
借入れに際しての個人保証・担保	13.5%
先代経営者の影響力	9.0%
相続税などの税金対策	9.0%
社員の不平・不満	8.3%
特になし	12.5%
その他	1.0%

【問5】中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものをお答えください。

選択肢(全項目)	
後継者教育・セミナー等	26.4%
個別相談	18.9%
自社の問題であるため自社で解決	12.1%
早期の事業承継の準備への助言等	11.1%
事業承継前後の個人保証・担保の対応	7.5%
専門家(税理士等)の紹介	5.9%
承継後の事業計画の策定への助言等	5.2%
事業譲渡先の紹介	2.0%
特に期待していない	10.1%
その他	1.0%

【本レポートに関するお問合せ先】

平塚信用金庫 総合企画部

平塚市紅谷町11-19

(TEL 0463-24-3039)

